



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ
照らされて

戦争の記憶

夏野右近(談)



〔略歴〕
一九二六年生まれ。高山
教区清見組満成寺前住職。
城端別院元輪番。清見保
育園元園長。

わしは、14歳で満州、
今の中国のハルビンの近
くに行っただ。当時の
わしは、「日本の領土は狭
い！これではダメや！」
と思つてな。それが
満州に行くことを志願し
た理由やな。それと、わ
しは勉強が嫌いだな。兄
弟はみんな中学に行っ
とったんやけど、満州へ
行って三年間訓練を受け
れば、中学卒業(現在の
高校卒業)と同等の学歴
を認められたんや。そん
なこともあって、当時
一人人ほどの青少年を集
めとった、内原(茨城
県)ってこの訓練所で
三カ月訓練して、戦地へ
派遣されたんや。

当時の満州ってところは、
わしら若いもんにとつて
は夢のようなところやった。
飛騨で田んぼを持つとる
百姓って言ったら、だいた
い三反から五反。それが
満州に行けば、一人あ
たり十町分の土地を与え
られるんや。わしは、関
東軍の配下になって、ソ
連との国境近くを警備し
ながら、田植えをして生
活しとった。そこは、時々
中国の民間人が襲つてく
るんや。そんな時は、寝
とつても叩き起(こ)されて、
鉄砲をかついで警備した
さ。片手には銃、片手に
は銃剣を持って、いわゆる
「青少年義勇軍」って
やつやな。

ソ連との国境近くでは、
日本の陣地をつくるため
に、勤労奉仕へ行つとつ
たこともある。まだ兵隊
でもないわしたちが借り
出されたんやけど、それ
でも人手が足りん。そや
もんで、中国人の捕虜に

も手伝わせるんや。捕虜
は貨車でどんどんと送ら
れてきた。わしたちは、
貨車から降りる捕虜を数
えて軍隊に渡すつていう
仕事をしたんや。一台の
貨車には50人ずつ乗っ
とつて、捕虜を貨車か
ら降ろす時に、「イー、
アル、サン、スー(一、
二、三、四)」つて数え
る。そうすると47ぐらい
で止まるんや。中をのぞ
いてみると、貨車から
ぶーんつて臭いがして、
亡くなつとるのが見える
んや。疲れ切つてフラフ
ラの捕虜を全員並べて、
鉄条網のところで連れて
いくと、今度は軍隊が人
数を調べて、現場に連れ
て行くんや。でも、捕虜
は現場から一人も帰つて
こん。作業は全部捕虜に
やらせるんやけど、作業

が終われば、みんな毒カ
スの実験に使うわけや。
「ご苦労やった」つて
言つて帰してもしたら、
基地の様子が敵に伝わる
危険があるでしょ。秘密
を守るために全員殺して
しまつたんやな。

結局、日本は戦争に負
けて、わしは4、5年、
捕虜としての生活を送ら
なければならんかった。
苦しい生活やつたけど、
何とか生き抜いてこれた
のは、母親の存在があつ
てのことやつたな。後で
聞けば、普段は何にも
しゃべらんおつかさまが、
わしが捕虜になつたと聞
いてからは、夜中によろ
泣いとつたそうや。「わ
しを待つとる親がおるん
や」と思うと、何として
も生きて帰りたいかった。
夢の中に出てきてくれる
たびに、わしはおつかさ
まの名前を呼ぶんや。名
を通して、わしはどこへ
行つても何になつても、
おつかさまに会えたんや
な。仏さまの「なんまん
だぶつ」という名と一緒
やな。仏さまは「親さま」
と言われることがあるけ
ど、名を通して、わした
ちは仏さま・親さまと会
えるんや。わしをいつも
心配して待つとつてくれ
る親さまには、何として
でも会わなければならん。
今思えば、行きたくて
戦争に行った人はおらん
のや。でも、「お国のた

め、天皇陛下のために命
を捧げる」という教育の
影響は大きかった。疑問
すら持たんかった。「お
国のため、天皇陛下のた
め」と言いながら、武器
を持つて人を殺してしま
う。命に無関心になつて
しまふんや。戦争になる
と、みんな正常でなくな
るんやな。「さるべき業
縁(えん)のもよおせば、いかなる
ふるまいもすべし」(『歎
異抄』)とあるけど、わ
したちは状況次第で何
でもやつてまう存在なん
やな。そやけど、親さま
がおる、仏さまがおる、
「なんまんだぶつ」があ
る。そのことを忘れては
いかん。

古来から食事を共にするということ
は、日本人にとって特別な意味をもつ
ています。この飛騨地域でも、会合
の後の懇親会(けんしんかい)の場がつながらを保つ場
として特に大事にされているのでしょ
う。食事を共にするということは「火
を通したものを同じくする」というこ
とで、精神・魂を共有するという意味
があるようです。これは神道の考え方
からきていますが、私たち真宗門徒に
とつての「お斎」は、阿弥陀如来の本
願を精神とし、浄土をふるさととする
同じ仲間、御同朋(ごどうぼん)であることを確かめ
る場として伝えられてきました。です
から、お斎は単なる食事会ではなく、
仏さまの教えに遇う仏事の場であると
いえます。

儀式・法座が開かれた後のお斎は、
緊張感が解けて和やかな雰囲気になり、
同席した方々と打ち解け合えるようにな
場になります。それだけにとどまら
ず、その関係の中で、報恩講であれば
親鸞聖人のご生涯を偲び、ご法事であ
れば身近な亡き人を縁として、教えの
中に、私たち自身の生き方を確かめ
合つていきたいものです。

め、天皇陛下のために命
を捧げる」という教育の
影響は大きかった。疑問
すら持たんかった。「お
国のため、天皇陛下のた
め」と言いながら、武器
を持つて人を殺してしま
う。命に無関心になつて
しまふんや。戦争になる
と、みんな正常でなくな
るんやな。「さるべき業
縁(えん)のもよおせば、いかなる
ふるまいもすべし」(『歎
異抄』)とあるけど、わ
したちは状況次第で何
でもやつてまう存在なん
やな。そやけど、親さま
がおる、仏さまがおる、
「なんまんだぶつ」があ
る。そのことを忘れては
いかん。

め、天皇陛下のために命
を捧げる」という教育の
影響は大きかった。疑問
すら持たんかった。「お
国のため、天皇陛下のた
め」と言いながら、武器
を持つて人を殺してしま
う。命に無関心になつて
しまふんや。戦争になる
と、みんな正常でなくな
るんやな。「さるべき業
縁(えん)のもよおせば、いかなる
ふるまいもすべし」(『歎
異抄』)とあるけど、わ
したちは状況次第で何
でもやつてまう存在なん
やな。そやけど、親さま
がおる、仏さまがおる、
「なんまんだぶつ」があ
る。そのことを忘れては
いかん。

め、天皇陛下のために命
を捧げる」という教育の
影響は大きかった。疑問
すら持たんかった。「お
国のため、天皇陛下のた
め」と言いながら、武器
を持つて人を殺してしま
う。命に無関心になつて
しまふんや。戦争になる
と、みんな正常でなくな
るんやな。「さるべき業
縁(えん)のもよおせば、いかなる
ふるまいもすべし」(『歎
異抄』)とあるけど、わ
したちは状況次第で何
でもやつてまう存在なん
やな。そやけど、親さま
がおる、仏さまがおる、
「なんまんだぶつ」があ
る。そのことを忘れては
いかん。

め、天皇陛下のために命
を捧げる」という教育の
影響は大きかった。疑問
すら持たんかった。「お
国のため、天皇陛下のた
め」と言いながら、武器
を持つて人を殺してしま
う。命に無関心になつて
しまふんや。戦争になる
と、みんな正常でなくな
るんやな。「さるべき業
縁(えん)のもよおせば、いかなる
ふるまいもすべし」(『歎
異抄』)とあるけど、わ
したちは状況次第で何
でもやつてまう存在なん
やな。そやけど、親さま
がおる、仏さまがおる、
「なんまんだぶつ」があ
る。そのことを忘れては
いかん。

め、天皇陛下のために命
を捧げる」という教育の
影響は大きかった。疑問
すら持たんかった。「お
国のため、天皇陛下のた
め」と言いながら、武器
を持つて人を殺してしま
う。命に無関心になつて
しまふんや。戦争になる
と、みんな正常でなくな
るんやな。「さるべき業
縁(えん)のもよおせば、いかなる
ふるまいもすべし」(『歎
異抄』)とあるけど、わ
したちは状況次第で何
でもやつてまう存在なん
やな。そやけど、親さま
がおる、仏さまがおる、
「なんまんだぶつ」があ
る。そのことを忘れては
いかん。

め、天皇陛下のために命
を捧げる」という教育の
影響は大きかった。疑問
すら持たんかった。「お
国のため、天皇陛下のた
め」と言いながら、武器
を持つて人を殺してしま
う。命に無関心になつて
しまふんや。戦争になる
と、みんな正常でなくな
るんやな。「さるべき業
縁(えん)のもよおせば、いかなる
ふるまいもすべし」(『歎
異抄』)とあるけど、わ
したちは状況次第で何
でもやつてまう存在なん
やな。そやけど、親さま
がおる、仏さまがおる、
「なんまんだぶつ」があ
る。そのことを忘れては
いかん。

児童夏のつどいin蓮勝寺

自然がいっぱい！ 荘川の夏！

7月29日(水)から30日(木)の1泊2日の日程で、荘川町中畑の蓮勝寺を
会場に「児童夏のつどい」が開催されました。64名の子ども達と、中高生
スタッフ5名を含む35名のスタッフが参加し、川遊び、天体観測、ハイキ
ング、竹パンづくりなど荘川の夏をおもいきり楽しみました。今年は「平
和って…なに？」のテーマで願生寺(高山市岡本町)の白川悟さんにお話
をしていただき、子ども達は真剣に耳をかたむけていました。

参加者からは「友だちがたくさんできてよかった」「来年もまた来たい」
といった声が聞かれました。また、6年生にとっては今年が最後の夏のつど
いでしたが、「来年はスタッフで参加したい！」と言ってくれる子もいま
した。来年もたのしいイベントを企画してみんなを待ってるよ！

★子どもたちの感想★

- 川遊びはつめたかったけど、友達と遊んでいるとつめたいことを忘れて
しまいました。
・おつとめ練習では、正座をしたので足がいた
かったです。
・平和ということは、楽しいこと、食べもの
があること、学校へ通えることだと思
います。
・カレーってこんなにおい
しかったのかと思いました。
・荘川の野草や生きものを知っ
て楽しかったです。
・知らない学校の子たちがたく
さんいたけれど、二日間いっ
しょにいたことによってすぐ
に友だちができ、友だちがふ
えました。



おしなマ
くわんざら



問 お斎の意味ってなんやな？

答 「お斎」とは報恩講などの法
要や葬儀・法事の後にふるまわ
れる食事のことです。

お釈迦様が生きておられたころのイ
ンドの出家者の食事は朝と昼の二回だ
けでその食事のことを「斎」といいま
した。「斎」には「慎む」という意味
があります。これは出家者が正午以
後は食事をとらなかつたことに由来し
ています。

古来から食事を共にするということ
は、日本人にとって特別な意味をもつ
ています。この飛騨地域でも、会合
の後の懇親会(けんしんかい)の場がつながらを保つ場
として特に大事にされているのでしょ
う。食事を共にするということは「火
を通したものを同じくする」というこ
とで、精神・魂を共有するという意味
があるようです。これは神道の考え方
からきていますが、私たち真宗門徒に
とつての「お斎」は、阿弥陀如来の本
願を精神とし、浄土をふるさととする
同じ仲間、御同朋(ごどうぼん)であることを確かめ
る場として伝えられてきました。です
から、お斎は単なる食事会ではなく、
仏さまの教えに遇う仏事の場であると
いえます。

儀式・法座が開かれた後のお斎は、
緊張感が解けて和やかな雰囲気になり、
同席した方々と打ち解け合えるようにな
場になります。それだけにとどまら
ず、その関係の中で、報恩講であれば
親鸞聖人のご生涯を偲び、ご法事であ
れば身近な亡き人を縁として、教えの
中に、私たち自身の生き方を確かめ
合つていきたいものです。

☎テレビホン法話(0577)(34)2313 ☎8月21日〜31日:樋口博之氏「常照寺」 ☎9月1日〜10日:竹田和貴氏「慈雲寺」
☎9月11日〜20日:伊達俊幸氏「稱讃寺」
宗教トラブル相談窓口(0577)3210763

女性で働く

女と男の

ナムアマミダブツ⑨

藤場 芳子



を「女の子」。

いくつになっても 半人前?

ある非正規の現実

その映画は青江美奈のヒット曲『伊勢佐木町ブルース』の替え歌から始まりました。「夜明け前には 家を出て行く 始発で出勤寒いわ眠いわ 新聞コーヒー少年ジャンプ タバコも一緒に合計いくら 一個ずつ払って シュドゥビドゥビドゥバ ドゥビドゥバ 暗算無理」。映画の題名は『メトロレディーブルース』。東京の地下鉄の売店で働く女性たちの心境を歌ったものです。登場するのは独身、シングルマザー、夫と死別しての一人暮らし、自宅で母親の介護をしているという四人。いずれも60代。何年働いても時給が上がらないという非正規雇用で、約10年働いてきました。一年ごとに契約を更新する不安定な状況のため、労働環境を改善して欲しくて、そんな要求をしたら首を切ら

れるのではないかと、今まで恐くて黙っているしかありませんでした。そんな彼女たちがある日、声をあげ始めました。「私たちを差別して欲しくないんです!」と。

M字カーブ

この状況は彼女たちだけの問題ではなく、日本の女性の働き方に関係があるのではないかと思えます。女性の働く割合は年齢別に見ると「25〜29歳」が79%と高く、その後低くなり、「45〜49歳」で76%と再び高くなります。それをグラフしてみるとM字に似ていて、そのM字の低いところが出産と子育ての時期と重なります。私も子育ての時期と引越しが重なり、働くことを断念した一人です。子どもと過ごす時間はそれはそれで楽しかったのですが、新しい土地での再就職、しかも正規雇用となるとかなり厳しいものがあり、結局は非常勤でわずかな時間働くということになりました。

今、パート、派遣など非正規で働く人数は、労働者全体のなんと四割近くを占めています。しかも女性の六割が非正規雇用なのです。「女性の貧困」が注目されるようになってきているのはこんな背景があるからではないでしょうか。

「女の子」

今回の句は「女の子」。いくつになっても 半人前?」です。お茶くみをしている女性の体半分が点々で描かれています。お茶くみ自体が悪いということではなく、なぜ女性になのか、という問いか

けです。今では交代制、または各自でお茶をくむというように変わってきているかもしれないですが、あなたの職場はどうでしょうか。「女の子」にカギカッコが付いているのはなぜでしょうか。中堅の男性社員が電話の向こう側の相手に「うちの女の子に行かせますから」と言っていて、書類などを運ばせる光景が思い浮かびます。わざわざ自分が出向くほどでもないのに、後輩の女性を使い出すというわけですが、そんな時「うちの男の子に行かせますから」とはまず言わないでしょう。使う単語一つの中に性差と仕事の軽重に関する私たちの意識が反映するのではないかと思います。

問われる生き方

経済が優先される社会では人間が軽んじられ、使い捨てにされてしまいます。子育てや介護をする女性は周辺へ追いやられ、「男並みに」働く人だけが評価されてきました。今、そのことが問い直されているのだと思います。竹中智秀氏(大谷専修学院元学院長)は「始めに尊敬あり」と言われまし

た。どんな状況にあっても人間は尊敬されるべき存在なのだという阿弥陀如来からの呼びかけです。けれども現実には「私たちは始めに軽蔑あり」ですね」と同氏は付け加えています。「差別して欲しくないんです」という声を私たちはどこまで聞いているのでしょうか。

次回は酒井義一さんの「私を照らすひかりの言葉⑩」です。

ご壇案内

Table with 2 columns: Date and Temple Name. Includes dates from 22nd to 29th and temple names like 敬勝寺, 常照寺, etc.

ご坊文化講座

13日(日) 恵林寺「清見町」 日時 8月25日(火) 午後1時30分から 講師 三本 昌之氏 (蓮徳寺住職) 講題 「照蓮寺宣心と佐奈姫」 会場 高山別院 庫裡ホール 会費 600円

秋の彼岸会・永代経法要 9月20日(日)~26日(土) 午後1時から 勤行・法話 亡き方をご縁として仏法に出遇う大切な仏事です。ぜひお参りください。



今年も販売します 蓮の実念珠 予約受付中! 今年も飛騨御坊限定「蓮の実念珠」を販売いたします。販売開始時期につきましては、「ひだご坊」紙面でお知らせします。一つ5000円です。ご予約承ります。お問い合わせは高山別院 (0577-32-0688) まで。

飛騨の真宗

伝承散歩①⑥ 大木を曳いた牛

嘉念坊さんが白川郷鳩谷に建て、のちに飯島に移された道場・正蓮寺(照蓮寺)は、真宗門徒の力を恐れた内ヶ島氏によって焼き討ちにされました。白川郷の人々は心のよりどころを失ってしまいましたが、蓮如上人とその門弟たちの計らいによって正蓮寺と内ヶ島氏の和睦が成立し、正蓮寺本堂の再建のため村人たちが立ち上がりました。正蓮寺十世の明心が、かつて道場のあった鳩谷を訪ねると、そこには嘉念坊さんが植えた、樹齢二百年は超すであろう大きな杉の木がありました。この杉を使って本堂を再建することになりましたが、人々は「飯島に建て直そう」「いや、もともとあった鳩谷がいい」「新しくするために別の集落がいい。おれのところはどうかだ」などとそれぞれが主張するものですから、どこに再建するのか全くまとまりませんでした。

そこで、一頭の牛にその杉の大木を曳かせ、その牛が止まったところに再建しようということになりました。とても大きな木ですから、牛もそんなに遠くへは行かないだろうと村人は思っていたのですが、牛はずんずん進んでいき、最終的に六里(約二十四キロメートル)ほどの距離を歩き、ついには中野(荘川町中野)で止まりました。村人たちは取り決め通り、牛が止まった中野の地に杉の大木を使って正蓮寺の本堂を再建しました。白川郷の真宗の中心道場として、昭和に中野の集落が御母衣ダムに沈むまで、人々のよりどころとなつたのです。再建された照蓮寺の本堂は日本で最も古い真宗寺院として高山市の城山に移築されています。

